

さわやか医信 みんなのきずな



2023 * DISCLOSURE

～信頼される医信を目指して～



(令和5年9月30日現在)

さわやか医信 みんなのきずな

富山県医師信用組合

◎はじめに

富山県医師信用組合は、金融を通じて組合員である先生方の医業経営に関する事業の発展に寄与し、ひいては地域住民の医療および健康管理にお役に立ちたいと日々努力をしております。

ここに、令和5年度上半期（令和5年4月～9月）における当組合の経営情報を取りまとめましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただければ幸いです。

これからも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

令和5年11月

富山県医師信用組合

理事長 馬瀬 大助

◎事業方針

■基本的な考え方（経営理念）

当組合は昭和40年6月の創業以来、医業域信用組合として、組合員である開業医・勤務医の先生方に対し、相互扶助の精神を基本に、医業経営のアシスタントとなり、ひいては地域医療の発展に寄与することを経営理念としております。

■経営方針

- (1) 健全経営を念頭に、正確な事務処理、迅速な対応、親身な対応で良質な金融サービスの提供に努めることとします。
- (2) 法令等遵守を経営上の最重要課題のひとつと位置づけ、誠実かつ公正に業務を遂行します。

■運用方針

- (1) 組合員のニーズを発掘して、貸出金の増強に積極的に取り組みます。
- (2) 有価証券の運用は、安全性を重視した安定的な運用収益の確保に努めます。
- (3) 信用リスクや金利リスク等全てのリスクを認識し、統合的なリスク管理を実施します。

◎令和5年9月末仮決算の状況

■主要勘定

(単位:百万円、名)

勘定科目	4年9月末	5年9月末	前年同月比
預金・積金	38,774	38,598	△176
貸出金	6,768	7,289	521
預け金	14,166	13,310	△856
有価証券	25,690	25,373	△317
経常収益(A)	186	203	17
経常費用(B)	84	92	8
経常利益(A-B)	102	111	9
業務純益	102	110	8
コア業務純益	102	110	8
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	102	110	8
当期純利益	76	84	8
組合員勘定合計	4,669	4,780	111
(うち出資金)	43	43	0
組合員数	1,330	1,339	9

◎貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	令和4年9月末		令和5年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
金融・保険業	—	—	—	—
医療・福祉	4,221	62.3	4,708	64.5
個人	2,547	37.6	2,581	35.4
合計	6,768	100.0	7,289	100.0

◎有価証券時価情報

■満期保有目的

該当ありません。

■その他保有目的(令和5年9月末)

(単位:百万円)

	取得原価	B/S計上額	評価差額	うち益	うち損
国債	5,182	4,847	△335	86	421
地方債	1,799	1,710	△89	17	106
社債	14,699	14,213	△486	46	532
株式	2,003	3,179	1,175	1,183	7
投資信託	0	0	0	0	0
外国証券	1,503	1,423	△80	0	80
合計	25,189	25,373	183	1,333	1,149

■令和5年9月末貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	
	令和4年9月末	令和5年9月末
(資 産 の 部)		
現金	57,058	44,484
預け金	14,166,421	13,310,614
買入金銭債権	300,000	300,000
有価証券	25,690,495	25,373,328
国債	5,430,210	4,847,480
地方債	2,081,280	1,710,310
社債	14,414,290	14,213,010
株式	2,313,067	3,179,481
投資信託	—	—
外国証券	1,451,648	1,423,047
貸出金	6,768,652	7,289,757
割引手形	—	—
手形貸付	163,595	142,977
証書貸付	6,490,000	7,053,097
当座貸越	115,055	93,682
その他資産	92,365	112,851
未決済為替貸	90	1,535
全信組連出資金	34,700	34,700
未収収益	55,482	53,984
仮払金	423	56
その他の資産	1,669	22,576
有形固定資産	24,445	339,213
建物	20,955	290,527
土地	—	—
リース資産	—	—
建設仮勘定	—	5
その他の有形固定資産	3,489	48,680
無形固定資産	2,135	1,526
ソフトウェア	2,135	1,526
のれん	—	—
リース資産	—	—
その他の無形固定資産	—	—
繰延税金資産	51,698	6,078
再評価に係る繰延税金資産	—	—
債務保証見返	79,978	72,819
貸倒引当金	△106,334	△145,691
(うち個別貸倒引当金)	△71,334	△93,429
資 産 の 部 合 計	47,126,915	46,704,983

(単位:千円)

科 目	金 額	
	令和4年9月末	令和5年9月末
(負 債 の 部)		
預金積金	38,774,891	38,598,571
当座預金	—	—
普通預金	12,698,214	13,220,268
通知預金	—	—
定期預金	25,403,544	24,795,474
定期積金	595,319	550,982
その他の預金	77,812	31,845
借入金	3,500,000	3,000,000
その他負債	48,451	43,867
未決済為替借	2,179	242
未払費用	25,739	23,383
給付補てん備金	637	415
未払法人税等	15,670	16,870
未經過収益	3,363	2,356
未払諸税	621	548
払戻未済持分	240	50
退職給付引当金	58,700	60,651
役員退職慰労引当金	12,985	15,365
繰延税金負債	—	—
再評価に係る繰延税金負債	—	—
債務保証	79,978	72,819
負 債 の 部 合 計	42,475,007	41,791,273
(純 資 産 の 部)		
出資金	43,950	43,820
普通出資金	43,950	43,820
優先出資金	—	—
利益剰余金	4,625,867	4,737,071
利益準備金	45,140	45,140
その他利益剰余金	4,580,727	4,691,931
特別積立金	4,400,000	4,400,000
(うち目的積立金)	—	—
当期末処分剰余金	180,727	291,931
(又は当期末処理損失金)	—	—
組 合 員 勘 定 合 計	4,669,817	4,780,891
その他有価証券評価差額金	△17,908	132,817
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△17,908	132,817
純 資 産 の 部 合 計	4,651,908	4,913,709
負債及び純資産の部合計	47,126,915	46,704,983

令和5年9月末損益計算書

(単位:千円)

科 目	令和4年9月末	令和5年9月末
経常収益	186,726	203,878
資金運用収益	182,638	198,745
貸出金利息	28,587	30,491
預け金利息	9,745	9,378
有価証券利息配当金	142,164	156,734
その他の受入利息	2,140	2,140
役務取引等収益	1,622	1,530
受入為替手数料	1,123	1,052
その他の役務収益	499	477
その他業務収益	1,532	1,744
国債等債券売却益	—	—
国債等債券償還益	8	2
その他の業務収益	1,524	1,742
その他経常収益	933	1,858
貸倒引当金戻入益	637	1,463
償却債権取立益	—	—
株式等売却益	—	—
その他の経常収益	296	395
経常費用	84,311	92,729
資金調達費用	11,960	11,516
預金利息	12,698	11,320
給付補てん備金繰入額	297	196
借入金利息	△1,035	0
役務取引等費用	3,843	4,356
支払為替手数料	959	943
その他の役務費用	2,883	3,412
その他業務費用	—	4
国債等債券売却損	—	—
国債等債券償還損	—	—
国債等債券償却	—	—
その他の業務費用	—	4
一般貸倒引当金繰入額	—	—
経費	67,469	75,935
人件費	40,085	37,628
物件費	27,062	38,113
税金	321	193
その他経常費用	1,037	916
貸倒引当金繰入額	—	—
貸出金償却	—	—
その他資産償却	—	—
その他の経常費用	1,037	916
経常利益	102,415	111,149

(単位:千円)

科 目	令和4年9月末	令和5年9月末
特別利益	—	—
固定資産処分益	—	—
負ののれん発生益	—	—
償却債権取立益	—	—
その他の特別利益	—	—
特別損失	3	111
固定資産処分損	3	111
減損損失	—	—
その他の特別損失	—	—
税引前当期純利益	102,412	111,037
法人税・住民税及び事業税	21,388	25,702
法人税等調整額	4,031	1,272
当期純利益	76,992	84,062
前期繰越金	103,734	207,869
積立金取崩額	—	—
当期末処分剰余金	180,727	291,931

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

◎単体自己資本の充実の状況

(単位:百万円、%)

	令和4年9月末	令和5年9月末
自己資本額	4,702	4,831
リスク・アセット等の合計額	20,585	20,834
単体自己資本比率	22.84	23.19

◎銀行勘定の金利リスク

(単位:百万円)

IRRBB (金利リスク)	令和4年9月末	令和5年9月末
Δ EVE (最大値)	1,571	1,440
Δ NII	86	91

◎金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

当組合は、金融再生法に基づき、貸出金等の対象債権について、自己査定と引当を行っています。令和5年9月末現在の残高は次のとおりとなっております。

(単位:千円、%)

区 分	令和4年9月末	令和5年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	47,885	36,071
危険債権	42,000	98,030
要管理債権	—	—
不良債権計 (A)	89,885	134,101
正常債権	6,758,744	7,228,474
合計	6,848,630	7,362,576
担保・保証等 (B)	13,745	35,872
貸倒引当金 (C)	71,334	93,429
保全額合計 (D) = (B) + (C)	85,079	129,301
担保・保証等、引当金による保全率 (D / A)	94.65	96.42
貸倒引当金引当率 (C / A - B)	93.68	95.11
不良債権比率	1.31	1.82

注1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。

5. 「担保保証 (B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。

6. 「貸倒引当金 (C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

◎地域貢献

■地域に貢献する信用組合の経営姿勢

当組合は、相互扶助の精神を根幹に置き、金融を通して組合員である先生の医業経営発展のお手伝いをする事、このことが地域住民の医療や健康管理に寄与し、ひいては「地域貢献」に繋がると考えております。

■融資を通じた地域貢献

当組合は次の点を大切にして融資業務を推進してまいります。

- (1) ご融資のお申し出には、早急に結論を出し迅速な手続きをします。
- (2) ご融資の条件などは、先生のサイドに立って、「借りやすさ」を醸成します。
- (3) そのためにも、健全経営に徹し、組合員の皆様の一層の信頼が得られるよう努めてまいります。

■令和5年上期組合員融資の現状

(1) 融資残高の推移

(単位:百万円、先)

	令和4年9月末	令和5年9月末	前年同月比
残高	6,768	7,289	521
年間増加額	355	521	166
利用者数	262	273	11

(2) 資金用途別組合員貸出利用状況

(単位:件、百万円、%)

	件数	金額	構成比
中元・納税	9	22	1.4
教育資金	2	6	0.4
診療所等設備	41	1,346	87.9
運転資金	4	42	2.7
他行肩代わり	4	113	7.4
合計	60	1,531	100.0

富山県医師信用組合

〒939-8214 富山市黒崎33番地
電 話 (076) 429-6272
F A X (076) 429-6467
<https://www.toyamadcu.co.jp/>